

シグマ委員会  
6年度第4回運営委員会議事録(案)

日時：1994年12月15日(木) 13:30～17:30

場所：日本原子力研究所本部第1会議室

出席者：中嶋(法政大)、石川(動燃)、瑞慶覧(日立)、山野(住原工)、吉田(東芝)、  
中村(東北大)、北沢(東工大)、村尾、水本、前川、菊池、中川(原研)

幹事：中嶋(原研)

オブザーバー：岡本(原産)、松延(住原工)、岸田(CRC)、川合(東芝)、  
更田(NEDAC)

配布資料

1. 6年度第3回運営委員会議事録(案)
2. 6年度第2回諮問・調整委員会議事録(案)
3. 1994年核データ研究会報告
4. 原子力学会春の年会、総合報告プログラム案
5. IAEA主催「核データセンター間の協力のレビュー」に関する諮問家会合報告
6. 第1回「国際基準放射化断面積ライブラリー」に関するIAEA/CRP会合
7. IAEA協力研究計画(IAEA/CRP)「中性子入射によるヘリウム生成反応断面積の測定、理論計算及び評価の向上」第2回会合出席報告
8. NEANSC 専門家会議・IAEA/CRP 研究調整会議報告
9. 原研ネットと外部との接続
10. 原子力学会春の年会、(核データ・炉物理)合同特別会合プログラム(案)
11. シグマ委員会の構成(1994年10月)
12. 第2回高エネルギー核データ専門家会議プログラム(案)
13. シグマ委員会旅費の使用状況
14. JSSTDLの現状
15. Status Report on Cross-Sections of Monitor reactions for Radio-isotope Production INDC(NDS)-218/GZ+ の目次
16. Scope of the IAEA Nuclear data Section Programme for Medical Applications (Proc. of an advisory group meeting on nuclear and atomic data, Rijswijk, Netherlands, 16-20 Sept. 1985)

議 事

1. 前回議事録確認

前回議事録（配布資料1）を確認した。宿題事項のうち、佐々木誠氏（MAPI）に運営委員会に出席してもらう件は、事務局から連絡してある。今回は、本人の都合で欠席。

## 2. 報告事項

### 2.1 諮問・調整委員会報告

水本氏が、10月27日に開いた6年度第2回諮問・調整委員会議事録（配布資料2）を説明した。第2回会合では、強力中性子源用核データ、中高エネルギー核データ評価、シグマ委員会の体制、大学での原子核工学科の組織改組、核データの普及等について議論した。答申は、7年度の本委員会に提出する予定である。

### 2.2 1994年核データ研究会報告

川合氏が、配布資料3で、11月17～18日に行われた1994年核データ研究会について報告した。今回の出席者は149名（国外4）であった。

Proceedingsのページ数は印刷費の関係で大幅に少なくした。これについては、運営委員から反対があり、とりあえず、「原稿の行間を1.5スペースでなくても良い、字を小さくしても良い」等の配慮をしてなるべくたくさん書けるようにすることにした。

更に、川合氏が、「使用言語を英語にした方がよいとの案があるが、これについては運営委員会で決めて欲しい。次期の実行委員長に井口氏（東大）を推薦する」と述べた。

### 2.3 原子力学会春の大会、総合講演（JENDL-3.2の完成）について

菊池氏が、配布資料4で、下記の総合講演案を説明し、了承された。

- |                                |              |
|--------------------------------|--------------|
| タイトル： JENDL-3.2の完成             | 座長：神田 幸則（九大） |
| 1. JENDL-3.2の評価とベンチマークテスト（60分） | 菊池 康之（原研）    |
| 2. JENDL-3.2の意義と今後の展望（30分）     | 吉田 正（東芝）     |

### 2.4 国際核データセンターネットワーク再編について

菊池氏が、配布資料5で、10月31日～11月1日にIAEAで開かれた「核データセンター間の協力のレビューに関する諮問家会合」の様子を報告した。この会合は、従来の中性子データ、荷電粒子データ及び核構造崩壊データのネットワークを合理化し新たなセンターネットワークを構築するための協定案を審議するのが目的であった。改定案では、IAEA/NDSがネットワークの中心となり、中性子データの4センターは従来の分担作業を続ける。荷電粒子データは従来どおりであるが、それに原研核データセンターが加わる。核構造崩壊データは現状と同じである。

### 2.5 IAEA/CRP会合(RCM)及びNEA専門家会議報告

(1) 第1回「国際標準放射化断面積ライブラリー」に関する IAEA/CRP 会合

中島氏が、配布資料6で、10月4日～7日にデブレツェンで開かれた標記会合（池田氏（原研）が出席）の報告をした。

(2) IAEA/CRP「中性子入射によるヘリウム生成反応断面積の測定、理論計算及び評価の向上」第2回会合

中川氏が、配布資料7で、11月1日～4日に北京で開かれた標記会合（千葉氏（原研）が出席）の報告をした。

(3) NEANSC 主催「ガンマ線生成データの測定、理論計算及び評価」の専門家会議

中川氏が、配布資料7で、11月9日～11日にボローニャで開かれた標記会合（柴田氏（原研）が出席）の報告をし、北沢氏が補足説明をした。

(4) IAEA/CRP「ガンマ線生成データの測定、理論計算及び評価」第1回研究調整会議

中川氏が、配布資料7で、11月14日～17日にボローニャで開かれた標記会合（柴田氏（原研）が出席）の報告をした。

## 2.6 その他

(1) 原研ネットと外部との接続

中川氏が、配布資料9で原研東海研内部のネットワークと外部との接続について説明した。東海研内は、合計410 Mbpsの回線で構内ネットワークが構築されていて、PCやWSがイーサネットですべてに接続している。東海研からは、那珂研を通して本部に接続し、更に、東大理学部にも64 kbpsの専用線で繋がり、TISNに接続している。今後、省庁間ネットが整備されれば、1.5 MbpsでSTAnetの筑波NOCに接続予定なので外部との回線がずっと太くなる。原研外部とのデータ転送速度は、本部と東大理学部間が遅い。WIDEやJAINを通して大学に入るとそこで非常に細い回線があり更にスピードが落ちる。

(2) 岡本氏が、原子力学会春の大会でLiの同位体比がサンプル作成中に変化することを報告すると述べた。

(3) JSSTD Lの現状

山野氏が、配布資料14で、JSSTD L作成の現状と予定を説明した。295群定数は12月末、100群定数は1995年1月末に完成予定である。2月末までに図によるチェックを終了する。

## 3. 審議事項

### 3.1 原子力学会春の大会、（核データ・炉物理）合同特別会合の議題について

菊池氏が、配布資料 10 で案を説明し、検討の結果了承された。但し、講演のタイトルについては更に工夫することとした。

座長： 竹田 敏一（阪大）

1. OECD/NEA プルトニウムリサイクリングベンチマーク（35分+質問5分）
  - (1) 軽水炉体系 高野 秀機（原研）
  - (2) 高速炉体系 若林 利男（動燃）
2. OECD/NEA 中間エネルギー核データコード・モデル比較  
ベンチマーク（15分+質問5分） 高田 弘（原研）

### 3.2 来年度のシグマ委員会体制について（委員、ワーキンググループ）

来年度の WG 体制や委員について簡単な議論を行った。WG については、全て継続する。荷電粒子核データ WG のメンバーは、(a,n) 反応データの関連者だけに絞ることとした。旅費節約のために、高エネルギー核データ WG と PKA スペクトル WG、Shielding 積分テスト WG と Fusion Neutronics 積分テスト WG 等は合同で会合を開くのがよいとの意見が出された。

### 3.3 高エネルギー専門家会議について

岸田氏が、配布資料 12 で、高エネルギー核データ専門家会議は 1 月 26 日～27 日に原研東海研で開くことにしたと報告し、プログラム案が了承された。

### 3.4 委員会旅費使用について

中島氏が、配布資料 13 で、12 月までの旅費使用状況と今後の会合開催についての事務局案を説明した。今後の会合についての事務局案を了承した。

### 3.5 その他

岡本氏が、荷電粒子データの重要性に関して配布資料 15 と 16 を説明した。

## 4. その他

○ 以下の関連会合があるとの報告があった。

1 月 17 日 核融合炉工学研究会（実証炉への先進的炉工学技術）  
東大・山上会館

1 月 19～20 日 最近の外部被曝線量評価法に関するワークショップ（e,g,n 等の  
高エネルギードシメトリーの話）

日本原子力研究所東海研 ABC 会議室

2 月 3 日 第 1 回原子力基礎・基盤研究報告会  
富国生命ビル

○ 次回は、3 月 16 日（木）または 17 日（金）とする。

## 宿題

担当者	宿題事項	期限
川合、 研究会事務局	proceedings の原稿について、執筆者に字を小さくし、single space で作成して良いと連絡する。	至急
菊池、高野、 発表者	原子力学会（核データ・炉物理）合同特別会合での講演のタイトルを考え直す。	至急
岸田、 会議事務局	高エネルギー核データ専門家会議の proceedings の書式を検討する。	1月末